４４．本坂通（ほんざかどおり）

選定箇所：西気賀～引佐峠（いなさ）（静岡県浜松市北区）、本坂峠～当古（愛知県豊橋市～豊川市）

概要：本坂通は、遠江の見附宿で東海道から分かれて浜名湖の北側を通り、本坂峠を越えて三河の御油宿で再び東海道につながる脇往還であり、姫街道とも呼ばれている。古代には二見の道と呼ばれ、陸路の主要道であった。中世には海沿いの東海道の往来が盛んになるが、１５世紀末の地震で浜名湖の南岸が海とつながって今切口が出来ると、軍勢など渡船を避ける陸路として本坂通が利用された。江戸時代に今切の渡しが整備された後も往来があり、東海道の一部として整備された。宿や関が置かれたほか、本坂峠や引佐峠には石畳が整備されている。